

工事記録写真管理運用マニュアル

令和6年4月

昭島市水道部 工務課工務係

目 次

1. 工事記録写真管理運用マニュアルについて	・ ・ ・ ・ ・ 1
2. 適用範囲	・ ・ ・ ・ ・ 1
3. 管理項目及び方法	・ ・ ・ ・ ・ 1
4. 「工事記録写真撮影計画書」の提出	・ ・ ・ ・ ・ 1
5. 工事写真の分類	・ ・ ・ ・ ・ 2
6. 撮影箇所	・ ・ ・ ・ ・ 2
7. 撮影時期	・ ・ ・ ・ ・ 2
8. その他	・ ・ ・ ・ ・ 3
9. 工事記録写真の整理・編集について	・ ・ ・ ・ ・ 3
(1) 写真の整理	・ ・ ・ ・ ・ 3
(2) アルバム管理ソフト	・ ・ ・ ・ ・ 3
10. 工事記録写真の提出	・ ・ ・ ・ ・ 4
(1) 写真帳による提出	・ ・ ・ ・ ・ 4
(2) 電子媒体による提出	・ ・ ・ ・ ・ 4
11. デジタル工事写真の小黑板情報電子化について	・ ・ ・ ・ ・ 4
12. 工事記録写真撮影項目の記載用語について	・ ・ ・ ・ ・ 6
13. 工事記録写真撮影項目	・ ・ ・ ・ ・ 7
1. 共通	・ ・ ・ ・ ・ 7
2. 建設副産物等、その他	・ ・ ・ ・ ・ 8
3. 配管工	・ ・ ・ ・ ・ 9
4. 給水管工・附属設備築造工事・水圧試験・水質試験	・ ・ ・ ・ ・ 10

材料検査	
5. 土工	・・・・・・11
6. コンクリート、基礎工	・・・・・・12
7. 街築工	・・・・・・13
8-1. 舗装工	・・・・・・14
8-2. 舗装工	・・・・・・15
9. 維持補修工	・・・・・・15
14. 参考資料	・・・・・・16
(1) 工事写真帳書類綴り順	・・・・・・16
(2) インデックス表示例	・・・・・・20
(3) 電子媒体（CD-R）に記載（例）	・・・・・・20

参考文献

- ・東京都水道局 配水管工事標準仕様書
- ・東京都建設局 工事記録写真撮影基準

工事記録写真管理運用マニュアル 昭島市水道部 工務課工務係

令和5年5月制定

令和6年4月改定

1. 工事記録写真管理運用マニュアルについて

この工事記録写真管理運用マニュアル（以下、「本マニュアル」とする。）は、昭島市が発注する水道工事（配水管、導水管、送水管布設（布設替え含む。））の工事写真管理方法について定めたものである。

2. 適用範囲

本書は、昭島市が発注する水道工事（配水管、導水管、送水管布設（布設替え含む。））について適用する。なお管種が水道配水用ポリエチレン管の場合は、別に昭島市水道部で定めがある「水道配水用ポリエチレン管工事標準仕様書 3 施工管理 3-1 写真管理」を適用し、記載がない工種については本マニュアルを適用する。

3. 管理項目及び方法

受注者は、工事記録写真を施工管理の手段として、各工事の施工段階及び不可視部箇所（管）の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、安全管理状況、環境対策状況等を本マニュアルにより撮影し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対し直ちに提示すること。また工事開始前に工事写真撮影計画を提出し、工事完成時又は監督員から提出を求められた場合には速やかに工事記録写真を提出しなければならない。

4. 「工事記録写真撮影計画書」の提出

受注者は、「工事記録写真撮影計画書」（以下「撮影計画」という。）を作成し、監督員に提出すること。

なお軽易な工事施行に当たっては、監督員の承諾を得た上で、撮影計画書を省略することができるものとする。

「撮影計画」記載事項

1) 撮影者

- ・ 責任者
- ・ 補助者

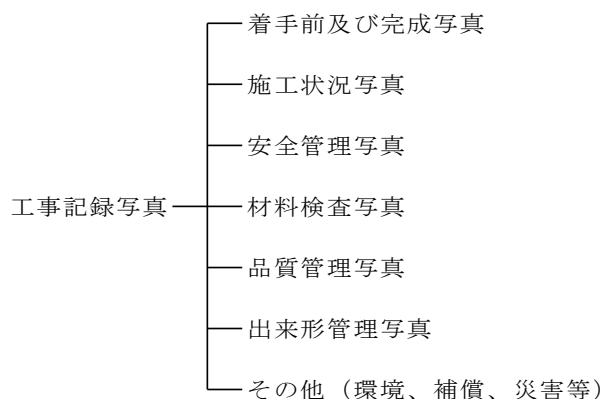
2) 内容

- ・ 撮影計画箇所（平面図等に撮影箇所・撮影方向等を記載）
- ・ 撮影手段（通常の写真機（デジタルカメラ等））
- ・ 提出形式（写真帳及び電子媒体）
- ・ 撮影機材（デジタルカメラを使用する場合、有効画素数を記載すること。）

5. 工事写真の分類

工事写真の分類は下記のとおりとする。

工事記録写真の分類



工事写真の撮影は下記（１）から（７）に注意して行うこと。

- （１）着手前及び完成写真は、施工前、施工後が同一方向から容易に確認できるよう構造物等を背景に撮影すること。
- （２）施工状況写真は、施工の位置及び一連の状況（状況から完了）が容易に確認できるよう構造物等を背景に入れて撮影すること。
- （３）安全管理写真は、道路使用許可申請書で許可を得た保安要員等の配置状況がわかるように撮影すること。
- （４）材料検査写真は、「昭島市材料検査実施基準」の内容が確認できるよう撮影すること。
- （５）品質管理写真は、検査、試験、測定等を行っている全景を遠距離で、また、規格、基準等と照合又は対比して確認できるものを近距離で撮影すること。
- （６）出来形管理写真は、所定の形状寸法が判定できるように必ず寸法を示す器具（巻尺、リボンテープ、ピンポール等）を入れて撮影すること。
- （７）その他の写真とは、環境、補償、災害写真等をいう。

6. 撮影箇所

撮影箇所は、「13. 工事記録写真撮影項目 1 共通 ～ 9 維持補修工」に示す箇所のほか、監督員が指定する箇所を撮影する。なお撮影に当たっては、撮影表示板（黒板）を画面に入れること。

7. 撮影時期

撮影時期に当たっては、常に工事の進捗状況及び施工内容を把握し、適切な時期に撮影すること。

8. その他

- (1) 写真は原則カラー写真とすること。
- (2) 事故、災害等緊急にその状況を報告する必要がある場合は、デジタルカメラ等の速やかに再現できる手段で撮影すること。
- (3) 夜間工事は、適宜照明や高感度フィルムの活用などを行い、その状況が判別できるような写真とすること。
- (4) 撮影は、必要に応じて遠距離と近距離から行うこと。
- (5) デジタルカメラにより工事記録写真の撮影を行う場合は、必要な文字、数値等の内容の判読ができる機能及び精度を確保できる撮影機材を用いる（有効画素数 100 万画素以上から 300 万画素程度（目的物及び黒板の文字等が確認できる範囲で適切な設定とする。））
- (6) 黒板に必要な表示内容を記載すること。
（工事件名、施工年月日、受注者名、測点、工種、設計値、実測値、略図等）

9. 工事記録写真の整理・編集について

(1) 写真の整理

- 1) 写真撮影後は、速やかに撮影内容の確認を行い、データを整理すること。
- 2) 撮影内容がわかるように写真撮影項目一覧表を作成する。また工種等により必要がある場合は、説明図（撮影内容が容易に確認できる位置図）を添付すること。
- 3) 提出する電子媒体は CD-R 又は DVD-R を原則とし、これ以外の場合は、監督員の承諾を得ること。
- 4) 電子媒体の記録画像ファイル形式は、JPEG 形式（非圧縮から圧縮率 1 / 8 まで）を原則とし、これ以外の場合は、監督員の承諾を得ること。

(2) アルバム管理ソフト

アルバム管理ソフトについては、次の要件を満たすアルバム管理ソフトで編集すること。

- 1) ディスプレイの 1 画面には、3 枚から 4 枚までの写真枚数とし、画像を拡大せずとも工事内容が容易に確認できること。
- 2) 写真帳と同様の内容（写真の説明文及び図（挿絵））が収録でき、表示及び確認が可能なこと。
- 3) 前及び次の画面への移行（ページめくり）、画像の拡大等の展開が速やかにできること。
- 4) 工事写真の仕分け及び分類は、工程順及び工種別に整理され、検索が容易なこと。

10. 工事記録写真の提出

(1) 写真帳による提出

- 1) 工事の進行に合わせて、写真帳へ整理し、必要に応じて監督員が提出を求めた場合は、速やかに提出すること。
 - 2) 工事が完成したときは、工事記録写真帳を監督員に提出すること。
- (14. 参考資料参照)

(2) 電子媒体による提出

- 1) 工事の進行に合わせて整理し、必要に応じて監督員が提出を求めた場合は、速やかに提出すること。
- 2) 工事が完成したときは、電子媒体を監督員に1部提出すること。
- 3) 提出の際は、電子媒体本体に、電子媒体（CD-R等）に記載（例）工事件名、契約番号、受注者名を容易に消えない方法で直接記入すること。（14. 参考資料（3）電子媒体（CD-R）に記載（例）参照）また電子媒体を収納するケースは、不織布ケース等、簡易的なケースで提出すること。（提出後、監督員の方で収納ファイルに整理するため）
- 4) 提出する電子媒体には、閲覧できるソフトを添付すること。なおOSはWindowsとする。
- 5) ウィルス感染対策として、納品時点における最新ウィルス対策ソフトを使用し、ウィルスに感染がないか確認し、電子媒体にウィルス対策ソフト名、ウィルス定義、チェック年月日を記入すること。

11. デジタル工事写真の黒板情報電子化について

デジタル工事写真の黒板情報電子化（以下「電子黒板」という。）を実施する場合は以下の定めによる。

電子黒板の導入を希望する場合、その旨を監督員と協議を行い、承諾を得た上で電子黒板対象工事（以下「対象工事」という。）とすることができる。なお電子黒板の導入の承諾は、「(1)「工事記録写真撮影計画書」の提出」の際に添付し承諾を得ること。

(1) 対象工事では、下記事項を全て実施すること。

1) 対象機器の導入

電子黒板の導入に必要な機器及びソフトウェア等（以下「使用機器」という。）について、以下に示す撮影表示板（例）工事件名、撮影年月日の電子的記入ができ、かつ信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用する。信憑性確認機能（改ざん検知機能）とは、「電子政府における調達のために参照すべき暗号リスト（CRYPTREC暗号リスト）」に記載している技術を使用することとする。なお、監督

員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示すること。

使用機器の事例として、「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照すること。ただし、ここからの選定に限定するものではない。

また、高温多湿又は粉じん等の現場条件の環境により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

「電子政府における調達のために参照すべき暗号リスト（CRYPTREC 暗号リスト）」

URL <http://www.cryptrec.go.jp/list.html>

「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」

URL <http://www.jcomsia.org/kokuban/>

工事件名	○○○○○工事	
撮影年月日	○○年○○月○○日	測点：○○
撮影内容		
受注者	○○○建設 ○○○作業所	

2) 電子納品

電子黒板を用いた写真の納品については、次による。

納品時に J-COMSIA が提供しているチェックシステム（信憑性チェックツール）等を用いて、電子黒板写真の信憑性確認を行い、その結果を工事記録写真帳の報告書に添付し書面で監督員に提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を監督員が確認することがある。

「J-COMSIA が提供しているチェックシステム（信憑性チェックツール）」

URL <http://www.jcomsia.org/kokuban/>

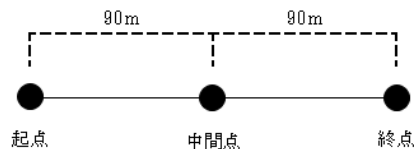
12. 工事記録写真撮影項目の記載用語について

注) 撮影頻度等記載用語について

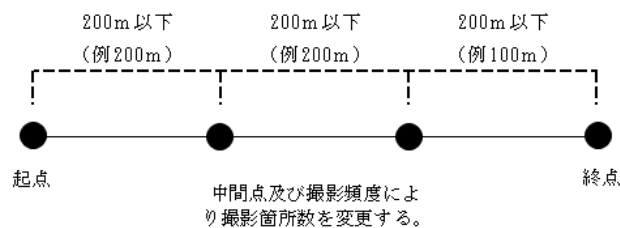
- 1) 「実施箇所ごと」とは、工事現場が点在しているときに適用する。
- 2) 「100mごと」とは、工事現場が連続しているときに適用する。
- 3) 「1 施工箇所」とは、施工箇所の 1 ブロック又は 1 日に施工する範囲とする。
ただし、1 ブロックでも、形状寸法、規格等が変わるごとに 1 施工箇所とする。
- 4) 「〇〇につき 1 回」については、小数点以下を切り上げた回数撮影とする。
- 5) 「〇m に 1 箇所、〇m 以下のものは、1 施工箇所に△箇所」についての考え方は、以下に示すとおりとする。
 - ①基準となる〇m より施工延長が短い場合、△箇所工事記録写真を撮影する。
(△箇所は多くの場合、3 箇所となっている。そのため、施工箇所の「起点」、「中間」、「終点」で撮影することを基本とする。施工現場固有の条件がある場合は、別途監督員と協議すること。
 - ②基準となる〇m より施工延長が長い場合、△箇所に加えて〇m ごとに撮影すること。

〈例〉 200m に 1 箇所、200m 以下のものは、1 施工箇所に 3 箇所
(基準とする撮影頻度が 200m の場合)

①施工延長が 180m の場合 (3 箇所撮影)



②施工延長が 500m の場合 (4 箇所撮影)



13. 工事記録写真撮影項目

1. 共通

工種名 (大・中分類)	撮影種別	撮影項目 (小分類)	撮影時期	撮影頻度	摘要	
共通	着手前	状況	全景又は代表部写真	着手前	着手前1回 実施箇所又は 100mに1箇所、 100m以下のもの は、1施工箇所に 3箇所	<ul style="list-style-type: none"> 写真で確認できる範囲を撮影箇所に設定し、着手前から施工中、完了まで一貫して行うこと。 特殊工法などはその特徴が確認できる撮影位置を設定すること。
	完成	状況	全景又は代表部写真	完成後	施工完了後1回 実施箇所又は 100mに1箇所、 100m以下のもの は、1施工箇所に 3箇所	<ul style="list-style-type: none"> 施工前と施工後の写真は同一箇所で同一方向から撮影すること。 既設物と占用位置等の関連を撮影すること。
	工事施工	状況	全景又は代表部分の 工事進捗状況 施工中写真 ・工種、種別毎に仕様書及び諸基準に合致した施工状況。・高度技術、創意工夫、社会的貢献度等に関するものが確認できる状況。	施工中	工種毎の撮影頻度による	<ul style="list-style-type: none"> 撮影位置がわかるような遠景を撮影すること。
	仮設（仮締切、土留め、支保工・仮給水工等）	状況 出来形	仮設状況	施工中	1施工箇所に1箇所又は100mごと	<ul style="list-style-type: none"> 設計変更等に活用できるように整理しておくこと。
			使用材料	施工前	1施工箇所に1箇所又は100mごと	<ul style="list-style-type: none"> 仮給水工については、施工状況（布設状況（サドル部の水圧確認（全箇所）・配管状況・土被り確認）・各供給元接続時の水出し確認（5箇所に1回）・撤去状況が確認できる写真を撮影すること。使用材料については、材料搬入確認の際に監督員が確認を行う。撮影内容は工事記録写真撮影計画書に記載し、監督員の承諾を受けること。
			形状寸法	施工後	1施工箇所に1箇所又は100mごと	
	図面との不一致	現況	図面と現場の不一致状況	発見時	適宜	
	安全管理	状況	各種標識類の設置状況	設置後	各種類毎に1回 実施箇所又は 100mごと	<ul style="list-style-type: none"> 設置位置、付近の状況がわかるように撮影する。
			各種保安施設の設置状況	設置後	各種類毎に1回 実施箇所又は 100mごと	
			保安要員等交通整理状況	作業中	適宜 実施箇所又は 100mごと	
安全教育等の実施状況			実施中	実施毎に1回		

2. 建設副産物等、その他

工種名 (大・中分類)	撮影種別	撮影項目 (小分類)	撮影時期	撮影頻度	摘要	
建設副産物等	建設発生土	状況	積込状況、土の状態 積載状況（工事現場 外出発時）（搬出場 所での荷卸し空荷状 況）	積込完了 時	各品目毎に1 回	・積込状況の撮影は、土質、 運搬車両のナンバープレ ート、ダンプ規制法で定めら れた表示、廃掃法で定められ た表示及び書面の備え付け状 況等が確認できるように行うこ と。 ・積載状況の撮影は、自重計 等の計測値や荷姿状況（荷台 枠の高さ管理）
	建設廃棄物	状況	積込状況 積載状況（工事現場 外出発時）（搬出場 所での荷卸し空荷状 況）	積込完了 時	各品目毎に1 回	
	現場内利 用状況	状況	積込状況	積込完了 時	各品目毎に1 回	・工事箇所が特定できるよう 周辺の背景を入れる。
	工事間利 用状況	状況	積込状況	積込完了 時	各品目毎に1 回	・搬出側工事現場と受入側工 事現場を撮影す る。 ・工事箇所が特定できるよう 周辺の背景を入れる。
	ストック ヤード状 況	状況	利用状況	利用中	各品目毎に1 回	
	受入地の 状況	状況	受入先の現場状況	受入時	各品目毎に1 回	
	再資源化 処理施設 の状況	状況	施設名称、看板	受入時	各品目毎に1 回	
	最終処分 場の状況	状況	施設名称、看板	受入時	各品目毎に1 回	・直接最終処分する場合に限 る。
	現場内 での分別 状況	状況	分別状況、収集状況	分別、収 集時	各品目毎に1 回	・現場内における建設発生 土、建設廃棄物、一般廃棄物 の分別、収集状況
	再生資源 の利用状 況	状況	利用状況	利用時	各品目毎に1 回	・なるべく再生資源の種類が わかるように撮影すること。
そ の 他	防護	状況	吊り防護及び受防護 の施工状況（種類 別）	施工中、 設置	実施箇所毎又 は50mに1箇 所	
	支障物件	状況	支障物件の位置及び 寸法、処理状況等	施工中、 後	実施箇所	
	環境対 策・現場 環境改善 等	設置実施 状況	各種施設・項目	設置・実 施後	施設・項目毎 に適宜	
	事故	状況 結果	事故状況	発生後 処理中、 後	適宜	・この種の写真は、いろい ろな意味で、重要な資料となる ため、現場との位置関係、内 容、規模等が鮮明にわかるよ う黒板等の補助表示を入れて 撮影すること。
	補償関係	状況 結果	被害又は損害状況	発生後 処理中、 後	適宜	
	災害関係	状況 結果	被災状況	被災時 処理中、 後	適宜	

3. 配管工

工種名 (大・中分類)	撮影種別	撮影項目 (小分類)	撮影時期	撮影頻度	摘要		
配管工	管撤去	状況 結果	管弁類等の撤去	施工前、 中、後	実施箇所又は 100m ごと	・撤去材については、全数を 確認できる状況を撮影すること。	
			撤去材の集積又は車 上状況	施工中、 後	5 箇所程度ご とに 1 回		
	配管工	状況	管の吊込み状況	施工中	実施箇所又は 100m ごと		
		出来形	土被り及び占用位置	施工後			
		状況	管の接合状況 (全工程)	施工前、 中、後	実施箇所又は 100m ごと		・トルク管理値が必要な継手は締 付トルク確認状況を撮影すること。 黒板にトルク値を記載すること。 (基準値・測定値)
		状況 結果	本管、シールド、推 進部、既設管内配管 の接合完了状況 (白 線管理)	施工中、 施工後	全箇所		上面 (12 時の方向) より 1 枚 以上撮影すること。
		状況	伏越し等特殊部の配 管状況及び接合状況	施工中、 施工後	全箇所		
		状況	既設管との連絡配管 状況 (不断水連絡を 含む)	施工中、 施工後	全箇所		
		状況 結果	水圧試験状況 溶接部の検査状況	施工中、 施工後	実施箇所又は 継手ごと		
		結果	オフセット測量	施工後	始点、終点そ の他主要箇所 (栓防護、連 絡部、使用廃 止管路等)		・固定点 (基準点・境界点等) か ら三点を基準とし、撮影を行うこ と。(原則既設マンホール (雨 水・汚水)、電柱等は固定としな いこと。)
		状況 結果	耐震管の挿し口加工 (リング取付状況及 び外周測定状況)	施工中、 施工後	実施箇所ごと (1 箇所あた り 3 枚程度)		・切断及び溝切の状況 (溝切 り寸法の確認状況) ・挿し口リング取付け、ペイ ント補修後の状況 ・切管延長測定状況
	P-Link 及び G-Link の接合状況 (GX 管)		施工中、 施工後	実施箇所ごと (1 箇所あた り 3 枚程度)	・切断状況 ・防食キャップ取付状況 ・接合完了状況 (白線管理)		
	管防護	状況 出来形	配筋間隔 型枠設置状況	施工中、 施工後	実施箇所ごと	(ライナ設置状況) ・ライナ装着状況 ・接合完了状況 ・ポリエチレンスリーブ設置 後の状況	
			型枠設置状況 コンクリート形状・ 寸法				
			コンクリート打込み 状況				
		鋼材防護等の取付状 況	施工中	全箇所 (ライ ナ設置状況は 1 箇所当たり 3 枚程度)			
	耐震管のライナ設置 状況						
防食用ポ リエチレ ンスリー ブ被覆	状況	被覆状況 (ラップ長 さ及び固定箇所)	施工中、 施工後	実施箇所又は 100m ごと			
		管明示 (テープ・シ ート) の状況	施工中、 施工後				

4. 給水管工・附属設備築造工事・水圧試験・水質検査・材料検査

工種名 (大・中分類)	撮影種別	撮影項目 (小分類)	撮影時期	撮影頻度	摘要	
給水管工	サドル分水栓	状況 結果	取出し配管の施工状況 埋め戻し状況（各層 敷均し・転圧状況・ 転圧完了）	施工中、 施工後	実施箇所ごと 埋め戻しにつ いては5箇所 に1箇所とす る。	・サドル分水栓取付け時は、 穿孔前に分水栓部の水圧及び 穿孔後、給水管布設箇所にお いて乙止め止水栓まで水圧試 験を行うこと。 ・濁り・空気溜り等の有無が 確認できる写真を撮影するこ と。
	波状ステンレス鋼管		施工中、 施工後			
	水圧試験	状況 結果	水圧試験実施状況 （サドル部及び給水 管部）	試験実施 中、後	実施箇所ごと	
	水質検査		水質検査実施状況	検査実施 中、後		
	洗管作業		洗管作業状況	施工中		
附属設備築造工	基礎	状況 出来形	「基礎工」による。	施工中、 施工後	3箇所に1回	・調整ブロック等の施工時は 無収縮モルタルの現場配合及 び練り混ぜ状況を撮影するこ と。
	弁据付け	状況	弁の据付状況	施工中、 施工後		
	その他据付（消火栓、仕切弁ボックス等）	状況	コンクリート側塊積	施工中、 施工後		
			ブロック据付け等の 状況 鉄蓋据付け等の状況	施工中、 施工後		
水圧試験・水質検査	水圧試験	状況 結果	水圧試験実施状況	試験実施 中、後	実施箇所ごと	・配水管・導水管・送水管の 水圧試験及水質試験、洗管作 業状況を撮影すること。 ・濁り・空気溜り等の有無が 確認できる写真を撮影するこ と。
	水質検査		水質検査実施状況	検査実施 中、後		
	洗管作業	状況	洗管作業状況	施工中、 施工後		
材料検査	使用材料	状況（セメント、改良材等袋物材料）	使用材料	現場搬入時	原則全数量	・写真の撮影は、受注者の責 において、立会いを行った上 で、写真を撮影するものとす る。 ・数量、ロット番号、寸法等 が確認できるよう撮影する。
			空袋	使用後	原則全数量	
			検査実施状況	検査時	検査実施毎に 1回	
	状況（袋物以外）	形状寸法	使用前	各品目毎に1 回		
		検査実施状況	検査時	検査実施毎に 1回		
	管材	検査実施状況	現場搬入時	全数量又は種 類別	・直管、曲管、仕切弁等	
	附属材料	検査実施状況	現場搬入時	全数量又は種 類別	・弁きょう、側塊、鉄蓋等	

5. 土工

工種名 (大・中分類)	撮影種別	撮影項目 (小分類)	撮影時期	撮影頻度	摘要		
土 工	試験掘工	状況 結果	掘削位置	施工前	全箇所		
			埋設物の位置、はなれ、土被り及び配列	施工後			
			既設舗装構造及び土質確認	施工中、 施工後			
			道路復旧状況	施工中、 後	5箇所程度ごとに1回		
	掘削工	状況	布堀状況	施工中	実施箇所又は100mごとに1回		
			舗装壊し状況	施工中			
			掘削床付け状況（機械及び人力の別） （敷均し・転圧状況・転圧完了）	施工中、 施工後			
		出来形	掘削深さ及び幅	施工後			
	埋め戻し工	状況	埋め戻し状況（敷均し・転圧状況・転圧完了）	施工中、 施工後	実施箇所又は100mごとに1回		・改良土を使用する場合であっても各道路占用要綱に基づき密度試験を実施した場合は撮影すること。
			各層の厚さ	施工中、 施工後			
状況		現場密度試験	試験実施中	試験毎に1回又は100mごとに1回			
		支持力測定	測定実施中	測定毎に1回又は100mごとに1回			

6. コンクリート工、基礎工

工種名 (大・中分類)	撮影種別	撮影項目 (小分類)	撮影時期	撮影頻度	摘要		
コンクリート工	コンクリート試験	状況結果	単位水量試験	試験実施中	コンクリートの種類毎に1回		
		スランプ試験					
		空気量試験					
		塩化物量の測定	測定実施中				
		強度試験	試験実施中				
		テストハンマーによる強度推定調査	材齢 28 日～91 日の間調査実施中	対象構造物毎に1回			・詳細については「土木コンクリート構造物の品質確保に関する実施要項」（土木材料仕様書掲載）によること。
		ひび割れ調査	調査実施中				
				コアによる強度試験			試験実施中
			コンクリートの洗い分析試験		品質に異常が見られた場合		
コンクリート打設	状況	施工状況 打継ぎ目処理 打設状況・養生状況	施工中及び処理完了後	1 施工箇所 に 1 回 工種、種別毎に 1 回	・写真撮影は、処理剤使用材料、機械が確認できるように行うこと。 ・バイブレーター使用状況を撮影すること。 ・小運搬の場合は打設前に練り混ぜ状況を撮影すること。		
基礎工	基礎工（床付け）	状況 出来形	施工状況（敷均し・転圧状況・完了） 厚さ（床付け丁張りからの下がり）幅、長さ	施工中、 施工後	施工延長 80m に 1 箇所 延長 80m 以下のものは 1 施工箇所に 3 箇所又は実施箇所ごと		
	基礎工（砕石基礎）		施工状況（敷均し・転圧状況・完了） 厚さ（床付け丁張りからの下がり）幅、長さ				
	基礎工（コンクリート基礎工）	状況	施工状況	施工前、中、後	適宜		
		出来形	基準高（床付け丁張りからの下がり等）、幅、高さ	型枠取り外し後	施工延長 80m に 1 箇所 延長 80m 以下のものは 1 施工箇所に 3 箇所又は実施箇所ごと		

7. 街築工

工種名 (大・中分類)	撮影種別	撮影項目 (小分類)	撮影時期	撮影頻度	摘要	
街築工	街きよ工	状況 出来形	施工状況基準高（床 付け丁張りからの下 がり）、幅、高さ、 厚さ	施工中、 施工後	80mに1箇所80m 以下のものは1 施工箇所に1箇 所又は実施箇所 ごと	・施工状況については適宜 とするが、街きよなどの構 築物の通りが確認できるよ うに撮影すること。設計 値、実測値を黒板等に表示 すること。
	境石工					
	歩道止石 工					
	L形、L0 形、 U形溝工					
植樹帯工 植樹ます 工	状況	全景 施工状況	施工中、 施工後	80mに1箇所80m 以下のものは1 施工箇所に3箇 所又は実施箇所 ごと 植樹ます工は10 箇所に1箇所		
	出来形	基礎幅、高さ				
区画線工	状況	施工状況	施工前、 中、後	各線種毎に1回		
		テストピース採取状 況	施工後			
	出来形	厚さ（熔融式の み）、幅	施工後	各線種毎に1箇 所（テストピー スにより幅・色 別）		
		材料使用量	施工前、 後	全数量		
植栽工 掘取り、 根回し状 況	状況	施工状況 幹廻り、全景	施工前、 中、後	寸法形状・ラン ク毎 主要樹種毎		
植穴の形 状	出来形	形状寸法	施工後			
客土、施 肥、土壌 改良の状 況	状況	施工状況 全景	施工前、 中、後			
幹巻、控 木取付状 況						

8-1. 舗装工

工種名 (大・中分類)	撮影種別	撮影項目 (小分類)	撮影時期	撮影頻度	摘要	
舗 装 工	路盤工	状況	床付整正状況	整正後	1 施工箇所 に 1 回	舗装種別ごとに測定値 はすべて撮影する。
			敷均し、転圧 状況	施工中、施 工後	1 施工箇所 に 1 回	
		出来形	厚さ（床付け 丁張りからの 下がり）、幅	整正後	各層毎施工 日に 1 回又 は 80m に 1 回	
	〈アスファルト舗装工〉					
		タックコ ート及び プライム コート	状況	施工状況	施工中、 施工後	各層毎施工 日に 1 回
		アスファ ルト合材	状況 結果	合材温度測定	搬入時	1 台目及び 5 台目以降 5 台毎
	状況		動的安定度試 験	採取実施中	試験毎（樹 脂入りの み）	
		敷均し、 転圧工	状況	施工状況	施工中、 施工後	各層毎 80m に 1 回
			出来形	厚さ（床付け 丁張りからの 下がり）、幅	施工後	
			測定	温度管理	施工中、 施工後	
		施工継ぎ 目	状況	施工状況	施工後	各層施工日 に 1 箇所
			出来形	幅、位置		
		コア採取	状況 出来形	採取状況 （オフセット 位置） 厚さ	施工中、 施工後	全数量
		試験	状況	平坦性試験	試験実施中	車線毎に 1 回（片道）
			状況	ホイールトラ ッキング試験	試験実施中	試験毎（改 質アスファ ルトの場合）
			状況	現場透水試験	試験実施中	試験毎 （低騒音、 保水性及び 透水性舗装 の場合）
			状況	すべり抵抗値 試験	試験実施中	試験毎 （薄層舗 装、舗装性 及び二層式 低騒音の場 合）

8-2. 舗装工

工種名 (大・中分類)	撮影種別	撮影項目 (小分類)	撮影時期	撮影頻度	摘要
舗装工	状況 出来形	施工状況、厚さ (床付け丁張り からの下がり)、幅	施工中、 施工後	80mに1箇所 又は1施工 箇所に1箇 所	
		状況	打設状況、養生	施工中	
		平坦性試験	試験実施中	車線毎に1 回(片道)	
	出来形	路盤紙重ね寸法	布設後	80mに1回	
		スリップバー及 びタイバー寸法 位置	据付後		
		鉄網寸法、位置			
		抜取りコア厚さ	コア抜取り 後		

9. 維持補修工

工種名 (大・中分類)	撮影種別	撮影項目 (小分類)	撮影時期	撮影頻度	摘要
維持補修工	取壊し工	状況 出来形	施工状況 既設舗装厚さ	施工中、 施工後	1施工箇所に 1箇所
	路盤工	舗装工参照			
	アスファルト 舗装工	舗装工参照			
	局部打換	状況 出来形	施工状況(床付 け丁張りからの 下がり)、幅	施工前、 中、後	各層毎施工 日に1回又 は1施工箇 所に1回
	パッチング	状況 出来形	施工状況 厚さ、幅	施工前、 中、後	施工日に1 回
	路面切削工	状況 出来形	施工状況 厚さ、幅	施工前、 中、後	80mに1箇所 又は1施工 箇所に1箇 所
	路上表層再生 工	状況 出来形	施工状況(床付 け丁張りからの 下がり)、幅	施工前、 中、後	80mに1箇所 又は1施工 箇所に1箇 所
	表層基層打換 工 切削オーバー レイ工				
	伸縮継手補修 工	状況 出来形	施工状況 厚さ、幅	施工前、 中、後	伸縮継手両 端部及び中 央
	側溝改造工	状況 出来形	施工状況 厚さ、高さ	施工前、 中、後	80mに1箇所 80m以下の ものは1施工 箇所に3箇 所程度
	街路樹剪定	状況	施工状況	施工前、 中、後	1施工箇所に 2回

14. 参考資料

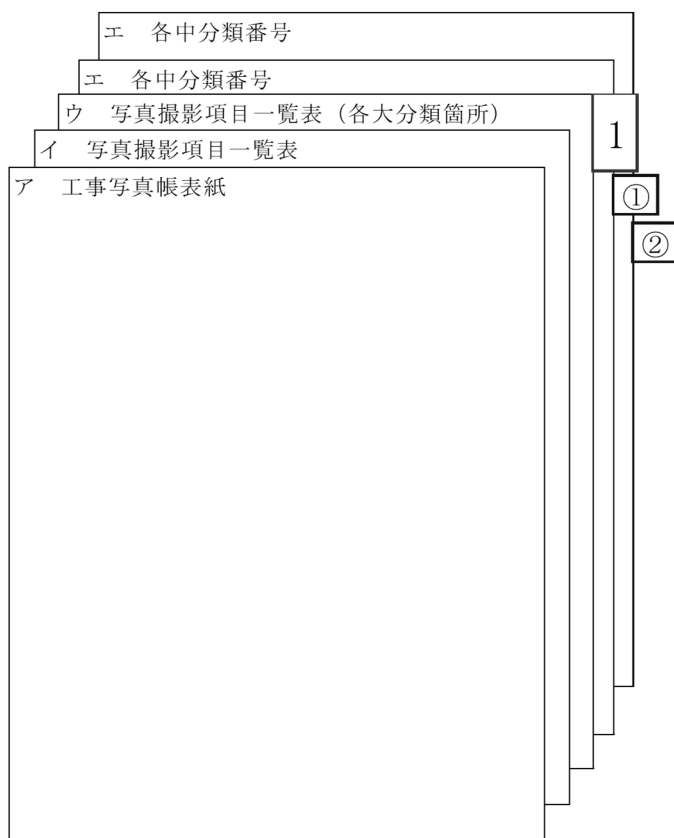
下記に工事写真帳提出時の整理方法について参考例を示す。

写真撮影項目のおりわかりやすく整理し提出すること。

なお下記に示す「イ・ウ 写真撮影項目一覧表」は参考内容とし、該当工事箇所の種類に沿った内容で工事記録写真撮影項目とおりに写真を撮影し、写真撮影項目一覧表を作成すること。

(1) 工事写真帳書類綴り順

- ア 工事写真帳表紙
- イ 写真撮影項目一覧表
- ウ 写真撮影項目一覧表（各大分類箇所）
- エ 各中分類番号



ア 工事写真帳表紙

工事記録写真帳 n/N				
工事件名				

契約番号	第		号	

契約年月日	年	月	日	

工期	着手	年	月	日

	完成	年	月	日

撮影機器	デジタルカメラ	/	電子黒板	

対象機器	カメラ	/	有効画素数	

閲覧ソフト OS				

ウイルス対策ソフト名・定義				
チェック日				

受注者				

イ 写真撮影項目一覧表（参考）
 工事写真帳表紙の次ページに綴る。

着手前・完了、安全管理、仮設工等の写真を整理し綴ること。

大分類		中分類		小分類
1	共通	①	着手前・完成	全景又は代表部写真
		②	安全管理	各標識類・保安要員配置状況
		○	○○○○○	○○○○○
2	土工	①	試験掘工	掘削位置
		②	掘削工	舗装取壊し状況
		○	○○○○○ 各工種にお	○○○○○
3	配管工	①	配管工	管の吊込み状況
		②	管撤去	管弁類等の撤去
		○	○○○○○ る施工状況写 真を整理し綴 ること。	○○○○○
4	給水管工	①	サドル分水栓	取り出し配管の施工状況
		②	波状ステンレス鋼管	取り出し配管の施工状況
		○	○○○○○	○○○○○
5	附属設備築造工	①	仕切弁筐据付	ブロック据付け等の状況
		②	消火栓室据付	ブロック据付け等の状況
		○	○○○○○ 各工種にお	○○○○○
6	街築工	①	街きょ工	施工状況
		②	区画線工	施工状況
		○	○○○○○ 質管理写真を 整理し綴るこ と。	○○○○○
7	舗装工	①	路盤工	床付け整正状況
		②	アスファルト舗装工	乳剤散布状況
		○	○○○○○	○○○○○
8	出来形管理	①	土工 掘削工	掘削深さ及び幅
		②	配管工	土被り及び占用位置
		③	舗装工 路盤工	厚さ、幅
		○	○○○○○	○○○○○
9	品質管理	①	配管工 水圧・水質	水圧・洗管・水質状況
		②	給水管工 水圧・水質	水圧・洗管・水質状況
		③	舗装工 基準密度	基準密度試験状況
		○	○○○○○	○○○○○
10	建設副産物等	①	建設廃棄物	積込状況、積載状況
11	その他	①	環境対策	実施状況

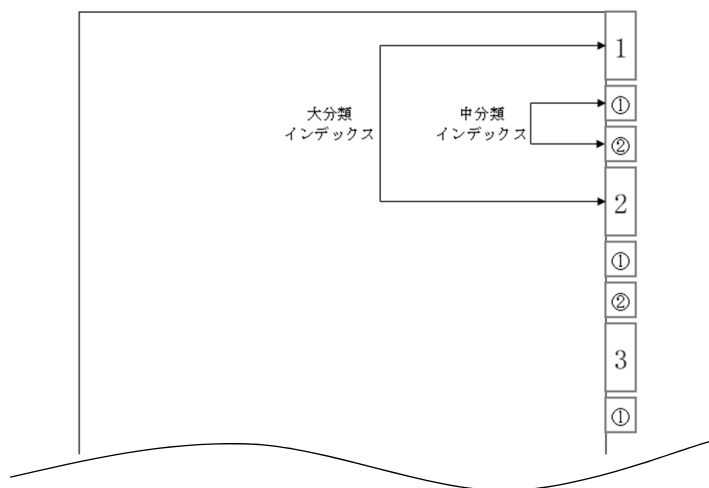
ウ 写真撮影項目一覧表（参考）

各大分類ページの先頭に綴り、当該分類内容欄に赤枠等で表記する。

大分類		中分類		小分類
1	共通	①	着手前・完成	全景又は代表部写真
		②	安全管理	各標識類・保安要員配置状況
		○	○○○○○	○○○○○
2	土工	①	試験掘工	掘削位置
		②	掘削工	舗装取壊し状況
		○	○○○○○	○○○○○
3	配管工	①	配管工	管の吊込み状況
		②	管撤去	管弁類等の撤去
		○	○○○○○	○○○○○
4	給水管工	①	サドル分水栓	取り出し配管の施工状況
		②	波状ステンレス鋼管	取り出し配管の施工状況
		○	○○○○○	○○○○○
5	附属設備築造工	①	仕切弁筐据付	ブロック据付け等の状況
		②	消火栓室据付	ブロック据付け等の状況
		○	○○○○○	○○○○○
6	街築工	①	街きょ工	施工状況
		②	区画線工	施工状況
		○	○○○○○	○○○○○
7	舗装工	①	路盤工	床付け整正状況
		②	アスファルト舗装工	乳剤散布状況
		○	○○○○○	○○○○○
8	出来形管理	①	土工 掘削工	掘削深さ及び幅
		②	配管工	土被り及び占用位置
		③	舗装工 路盤工	厚さ、幅
		○	○○○○○	○○○○○
9	品質管理	①	配管工 水圧・水質	水圧・洗管・水質状況
		②	給水管工 水圧・水質	水圧・洗管・水質状況
		③	舗装工 基準密度	基準密度試験状況
		○	○○○○○	○○○○○
10	建設副産物等	①	建設廃棄物	積込状況、積載状況
11	その他	①	環境対策	実施状況

(2) インデックス表示例

写真撮影項目とおりにインデックスを表示し、容易に項目が確認できるようにする。



(3) 電子媒体 (CD-R) に記載 (例)

工事記録写真帳 n/N			
工事件名			
契約番号	第	号	
契約年月日	年	月	日
工期 着手	年	月	日
完成	年	月	日
撮影機器 有効画素数			
閲覧ソフトOS			
ウイルス対策ソフト名			
ウイルス定義	年	月	日版
チェック日	年	月	日
受注者			

※CD-R の表面に項目内容を記載する際の注意事項

- ・項目毎にラベルシールを貼ることで、光学ドライブの故障原因が生じる可能性があるため、CD-R 本体に各項目を直接印字するか、各項目すべて印字された CD-R 用のラベルを全面に貼ること。